

四島のかけ橋

第 67 号
2020年8月31日

(月曜日)

発行所
北方領土返還要求運動
神奈川県民会議
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
TEL 045-285-0905
発行人 綾井 祐一



四島のかけ橋

令和2年度役員名簿

役職名	氏名	団体等の職
会長	嶋村 ただし	神奈川県議会議長
副会長	白石 俊雄	日本労働組合総連合会神奈川県連合会顧問
	向島 史朗	公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会会長
事務局長	檜垣 明宏	日本労働組合総連合会神奈川県連合会副事務局長
理事	西村 明夫	神奈川県商工会議所連合会専務理事
	四條 信仁	神奈川県農業協同組合中央会常務理事
	石川 壽々子	神奈川県地域婦人団体連絡協議会会長
	小宮 志奈乃	川崎市地域女性連絡協議会理事
	綾井 祐一	北方領土問題対策協会神奈川県推進委員
監事	高橋 征人	神奈川県漁業協同組合連合会代表理事会会長
	坂井 雅幸	公益社団法人横浜貿易協会常務理事

北方領土返還要求運動神奈川県民会議

令和2年度総会を開催

北方領土返還要求運動神奈川県民会議では、七月十五日(水)、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、書面にて令和2年度総会を開催しました。

新会長に嶋村ただし県議会議長を選任

第一号議案役員の選任については、会長には、選出母体の役員改選により、前神奈川県議会議長の梅沢裕之氏に替わり、先の県議会議で新たに神奈川県議会議長に就任した嶋村ただし氏を選出しました。また、任期満了及び選出母体の役員の

改選等により、令和2年度役員名簿のとおり、それぞれ役員を選出(再任)しました。

◇嶋村ただし 会長◇

次いで、第二号議案令和元年度事業報告、第三号議案令和元年度収支決算、第四号議案令和2年度事業計画(案)、第五号議案令和2

この間、防災警察常任委員会、県民企業常任委員会、予算委員会、議会運営委員会等の各委員長及び自由民主党神奈川県議会議員団团长を歴任。

令和二年五月神奈川県議会議長に就任。神奈川県出身。六十四歳。

会長就任に当たって

神奈川県議会議長 嶋村 ただし



このたび会長を仰せつかりました、神奈川県議会議長の嶋村ただしでございます。皆様のご協力をお願いいたします。

き、北方領土返還という大きな目標に向けて、尽力してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

昭和六〇年十一月に設立したこの県民会議も、今回で三十六回目の総会を迎えることになりました。北方領土返還に向けた会員の皆様の熱意と長年の御努力に、

とりが北方領土問題に対して正しい認識を持ち、一日も早い返還を求める多くの国民・県民の声を結集することが不可欠であります。

こうした中、当県民会議に新たな一団体が御入会くださったことは、返還の機運を高める上で非常に心強く感じております。

皆様におかれましては、北方領土返還要求に関する世論を盛り上げ、運動を推進していくため、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

灯台

本年は、終戦及び北方領土四島がロシアにより不法に占拠されてから七十五年が経過した節目の年です。四島で生まれ育った日本人の元島民も八十歳になります。生まれ故郷を追われた者から自力で島を脱出した者以外は、食べ物や飲み物もなく、着る物さえなかった船の中に、荷物と一緒に積み込まれて強制送還され、樺太に上陸したため、高齢者や小さな子どもが犠牲になることが多かったそうです。終戦後の昭和二〇年八月十八日、ソ連軍は四島に上陸を始め、同年九月五日までには四島を占領しました。元島民は、「私達の新築の家に銃を持ったソ連兵が土足で入ってきて、「アメリカはいないか。」などと言って脅し、天井裏などを探していた。ソ連軍が上陸してから、私たちは毎日銃を突きつけられ生活をしており、自由に生活することができなかつた。」と当時のことを語り部として伝えています。一方、北方領土で生まれ育ったロシア人も七十五歳を迎えてお

り、彼らにとって、四島は自分の生まれ故郷と思われるはずですが。しかしながら、これらの島々は戦前から日本人が生活していた、日本固有の領土であるということを主張し続けることが私たちの使命です。

さて、今年は新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大という、私たちがかつて経験したことのない受難の年になりました。新型コロナウイルスの感染拡大は、五月九日の対独戦勝記念日に合わせた安倍首相の訪露の見送り等、ロシアとの北方領土を含む平和条約締結交渉の停滞を招いています。

書面にて開催をさせていただきました。今年度の理事会・総会についても同様に、先月、書面にて開催させていただきました。十一月に開催予定の県民大会については、今後の状況を見て開催の可否を決めたいと思っています。また、神奈川県北方領土問題教育者会議においても、九月に根室市にて開催予定であった北方領土青少年等現地視察支援事業を中止としました。今後感染拡大が収束するまでの間しばらく時間がかかると予想されますが、逐次県民会議のホームページなどで事業の報告を行いたいと考えています。

こうした中、外務省の報道発表によれば「本年五月七日、安倍総理は、プーチン・ロシア大統領との間で電話会談を行ったところ、両首脳は、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大する中で、双方の国民保護のためのこれまでのお互いの取組に言及し、引き続き必要な協力を行うことを確認し、感染の早期収束に向けて日露で引き続き協力していくことを確認した。両首脳は、平和条約交渉、北方四島における共同経済活

心から敬意を表します。

戦後七十五年の歳月が流れましたが、北方領土が返還される見通しは未だにたつておらず、平和条約締結交渉はますます厳しさを増しており、改めて対露交渉に臨む態勢の見直しが問われています。

今後の外交交渉を下支えするためには、国民一人ひとりが北方領土問題に對し

最後にお知らせです。昨年五月ロシアの中学生を神奈川県に招いた際に協力いただいた慶應義塾大学二年太田就士さんが二〇一九年九月にロシア・サンクトペテルブルクに留学され、ロシアの生活、文化、コロナ事情等をYouTubeで発信していますので、是非、御覧ください(サイトは、「ロシアンカナル」で検索できます。このほか、テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」(令和二年七月二十六日放送)にも出演。)(綾井)

目で見る北方領土2019 視察研修報告



元島民からの講話

ソ連と日本の子供たちは、最初は喧嘩をしていましたが、段々なくなっていきました。私は、ソ連人であるターニャに恋心を寄せました。

北方領土は、日本のものであり、元島民として、島へ行きたいです。何百年かかってでも、取り戻してもらいたいです。

昭和二十二年九月、突然ソ連軍から日本人は日本に帰すとの命令があり、一週間以内に船が来て、島民は島を追いかれました。船内にふん尿の汚水が流れ、異臭がひどい貨物船で、樺太へ送られました。樺太での生活は、極寒で、食料もなく、とても厳しいものでした。体を壊し、死亡する人も多くいました(食料の配給はありました。パンと生ニシン、たまに汁物(水に塩が入っただけ)のみで、生ニシンを食べた人は、みんな病気になるました。)

その後、どうにか乗り切り、船で函館にたどり着きました。

終戦直後の昭和二十二年九月一日、斜古丹湾に軍艦二隻が侵入し、六百名、七百名のソ連兵が銃を構え上陸して来ました。当時十一歳だった私は、殺されると思いました。

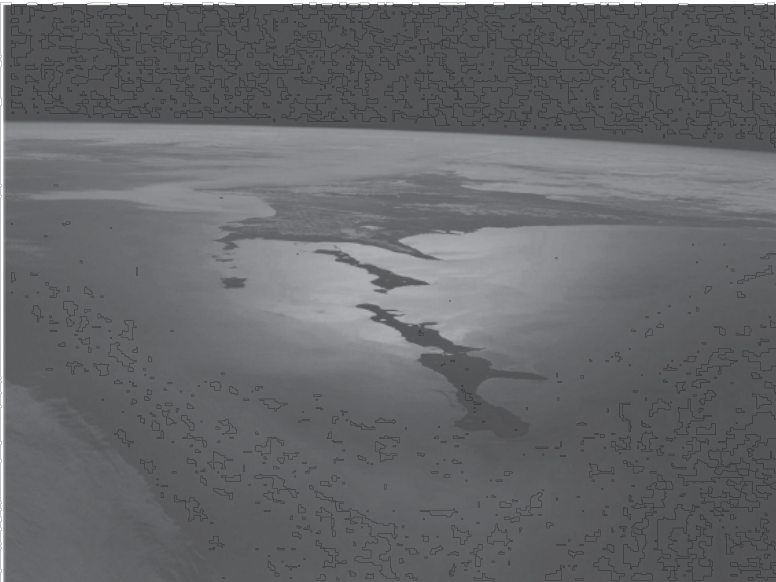
ソ連軍が民家を次々と没収したため、追い出された人々は、小屋などでの生活を強いられました。

また、ソ連軍の厳しい監視の目を逃れるために、命がけで夜中に島を脱出する人々がたくさんいました。島に残った島民は、ソ連人と混住の生活することとなり、先の見えない不安な日々が続きました。

視察を終えて

視察後、参加者の方々から寄せられたアンケートには、「ただの史実ではなく、生の声で聞くことができ、改めて戦争について考えさせられた。」「北方領土問題について、深く知ることができた。」など、現地に行くことの大切さを感じた方が多くいらっしゃいました。

これからも、この事業を通して、北方領土問題について実感していただけたらと思います。



空から見れば、 北方領土に国境はない。 それでも――

未来ある目に見てほしい。

作文コンテストの上位入賞者から選抜した中学生・高校生を、北海道(根室)へ二泊三日(9月19～21日)で派遣します。

夏休み作文
チャレンジ

神奈川県北方領土問題教育者会議

事務局：〒231-0023 横浜市中区山下町24-1 連合神奈川内

神奈川北方領土問題教育者会議

<http://hpayai.wixsite.com/education>

神奈川県
中高生限定

「北方領土に関する作文コンクール」を今年も実施しています。テーマは、「北方領土に関すること」、締切りは令和2年9月3日(木)までです。

なお、ポスター記載の北海道(根室方面)への派遣は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により安全確保が困難と判断し、中止となりました。

詳しくは、県民会議ホームページを御覧ください。

(<http://www.hoppoukanagawa.jp/ryodo/sakubunbosyu/>)
sakubun2020/sakubun2020.htm

編集後記

◇梅沢裕之前会長一年間御協力いただきありがとうございます。令和二年度は第百十三代県議会議長嶋村ただし氏に会長就任いただくことになりました。五月二十五日、県民会議阿部嘉弘事務局長が議長室を訪ね、県民会議の概要等説明を行い、総会を書面開催する旨、県民大会の日程及び場所についても御伝達しました。議長には、昨今のコロナ情勢を踏まえ、書面会議とする旨について御理解いただくとともに、コロナ禍での様々な行事の中止という事態は、これまでの通常の取組を見直すいい機会になるのではとの貴重な意見を賜りました。このほか、神奈川県北方領土問題教育者会議の取組の盛況ぶりについて説明しました。嶋村会長、どうぞ一年間よろしくお願いいたします。(綾井)

資料館の視察

視察した資料館は、一日目の野付半島ネイチャーセンター、二日目の別海北方展望塔、北方四島交流センター(二・ホ・ロ)、三日目の北方館の四方所です。

北方館では、小田嶋館長に、屋外で実際の国後島や歯舞群島を見ながら説明を受けた後、館内を案内していただきました。

北方四島交流センター(二・ホ・ロ)では、職員の方に丁寧な解説をしていただきました。中でも、元島民による講和は心に響くものでしたので、少し詳しく紹介します。

元島民からの講話

色丹島出身の得能さんにお話を伺いました。



国後島の山並み [泊山(左)、羅臼山(右)]



アザラシの見送り